



こあらのまーち

2月は暦の上では春ですが、まだまだ厳しい寒さが続きます。節分、生活発表会、クッキングと様々な行事がありましたが、どれも楽しく参加している子どもたちでした。



2月のこあら組



豆まき 保育園での豆まきに備えて、鬼のお面と豆入れを作りました。カップ麺の外側に画用紙をちぎり、花紙を付けてカラフルなかわいらしい髪の毛を作った後、角を付けました。「かっこいい!」「かわいい!」と自分たちで作ったお面がとても気に入ったようで、出来上がると「がおー」「鬼だぞ!」と強そうな鬼になりきる姿がありました。豆入れも自分たちの好きな色を選び、トラのパンツ柄にかわいく作ることができました。また、鬼のパンツのダンスや豆まきの歌もいっぱい歌って踊って、子どもたちは鬼退治にやる気満々でした。豆まき当日、鬼の声がするとホールの隅へ逃げて行ってしまったこあら組のみんなでしたが、「鬼は外!福は内!」と元気なかけ声で豆を投げている子どももいました。きりん組やぱんだ組のお兄さんお姉さんが鬼と戦っている様子をじっと見ている子や豆を恐る恐る投げる子、動けなくなってしまい豆入れの中に豆が残っている子など様々でした。来年は鬼に向かってたくさん豆を投げて、鬼退治が出来るか楽しみです。



生活発表会 当日はお父さんやお母さんたちが見に来ていることもあり、独特な雰囲気に対し緊張気味だったこあら組のみんなでしたが、歌「だいすきの木」ではいつも通りの元気な歌声をお客さんに届けることが出来ました。歌い終わるとほっとしたのか、笑顔いっぱいお客席に手を振っていました。楽器あそび「山の音楽家」では普段遊びの中でも行っている「おたんじょうびなかま」で登場しました。歌ですっかり自信がついたのか、いつもよりも張り切っていました。セリフも恥ずかしくらずに堂々と言うことができ、楽器も楽しく鳴らしている姿を見て、子どもたちの成長を感じました。当日はお忙しい中、ありがとうございました。



劇遊び 生活発表会で、きりん組がしていた劇「じごくのラーメンや」を練習のときから見ていた子どもたちは、すっかりその劇が大好きになっていました。自由遊びではおままごとで遊んでいると、コンロを並べて「ラーメンやですよー」と閻魔様になりきったり、劇中の歌を歌ってみたりする姿が見られました。そこで、きりん組に教えてもらいながら一緒に劇遊びをしました。憧れの役を衣装や道具を借りて出来ることになり、子どもたちは大張り切りでした。セリフや歌と踊りを一緒に楽しみました。その後、こあら組だけでも劇遊びをしました。色んな役を交代でしたりお客さんになったりして今でも、たくさん楽しんでいる子どもたちです。



きな粉づくり いつもより早く給食を食べ、お昼寝をしてクッキングに備えました。予定の時間よりも早く目が覚める子も多く、そわそわと待ちきれない様子が伝わってきました。着替えを素早く済ませて手を洗い、エプロンや三角巾、マスクをつけやる気満々で準備をしていました。給食室の先生からきなこが何からできているのかを聞き、二つのグループに分かれて一人一人ミルサーで大豆を砕きます。ミルサーが大豆を砕く音に少し驚いていましたが、だんだん粉になる様子を見ながら「すごい!」「豆無くなった」「お豆の大変身やな」と大興奮でした。粉になった大豆に、「わあ、きなこのにおいする」とみんなで鼻を近づけて、においをかいている様子がとてもかわいらしかったです。砂糖を混ぜ、少しだけ味見をして「きなこの味する」「おいしいね」ときなこになったことを再確認していました。その後、わらびもちを給食室の先生が作ってくれる様子を見ました。おもちつきではもち米をつくことでおもちになりましたが、わらびもちは粉と水で作ります。おもちつきの様子を覚えていた子どもたちは「お米じゃないん?」「ほんまにおもちになるんかな?」と半信半疑。しかし、フライパンの中で粉がおもちのようにねばねばしていく様子を見て、「おもちや!」「ほんまにおもちになった!」と驚いていました。出来上がったわらびもちにきなこをかけ、保育園の先生たちに届けました。「きなこを作ったよ。食べて下さい」と言って丁寧に渡すことが出来ました。そして最後に自分たちも作ったきなこをかけ、みんなでおやつとしていただきました。自分たちで作ったこともあり、「きなこいっぱいかけてな」「もっといっぱい食べれるで」とたくさん食べていました。節分で使った豆がミルサーで砕かれきなこになる様子を、視覚(見る)・嗅覚(におい)・触覚(混ぜる)・味覚(食べる)、と五感を使ってクッキングを楽しむことができました。

3月の予定

- 1日(金) ひな祭り
- 11日(月) 体操教室
- 20日(水) 身体測定
- 22日(金) お誕生会・お別れ会
- 29日(金) 修了式

